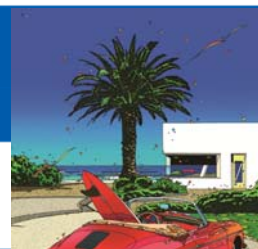


ライフ・ジャーニー

(かしこく育てるコース) (かしこく使うコース) (充実して楽しむコース)

愛称：最高の人生の描き方



第2期決算および分配金のお支払いについて

平素は「ライフ・ジャーニー（かしこく育てるコース）（かしこく使うコース）（充実して楽しむコース）」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「ライフ・ジャーニー（かしこく使うコース）」および「ライフ・ジャーニー（充実して楽しむコース）」（以下、当ファンド）は2018年9月18日に第2期決算を迎え、分配を行いましたので、今後の市場見通し等とあわせてご報告致します。

分配実績（1万口当たり、税引前）

当ファンドは2018年5月16日に設定され、この度第2期決算（2018年9月18日）を迎えました。分配方針に基づき各コースの目標分配率と決算日の基準価額水準を勘案した結果、分配金額は（かしこく使うコース）50円、（充実して楽しむコース）100円としました。なお、分配金お支払い後の基準価額は（かしこく使うコース）9,991円、（充実して楽しむコース）9,949円となっています。

決算		2018/7/17	2018/9/18	設定来累計
		第1期	第2期	(2018/9/18まで)
(かしこく使うコース)	分配金 (対前期末基準価額比率)	0円 (0.0%)	50円 (0.5%)	50円 (0.5%)
	騰落率 (税引前分配金再投資ベース)	0.5%	-0.1%	0.4%
(充実して楽しむコース)	分配金 (対前期末基準価額比率)	0円 (0.0%)	100円 (1.0%)	100円 (1.0%)
	騰落率 (税引前分配金再投資ベース)	0.6%	-0.1%	0.5%

分配方針

- 年6回（原則として毎年1月、3月、5月、7月、9月、11月の15日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配を行います。
- 分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。
- 分配金額は、委託会社が以下の目標分配率に基づき決定します。

(かしこく使うコース) 年3%（各決算時0.5%）相当

(充実して楽しむコース) 年6%（各決算時1%）相当

(注1) 基準価額は、1万口当たり、信託報酬控除後です。

(注2) 「対前期末基準価額比率」は、各期の分配金（税引前）の前期末基準価額（分配金お支払い後）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。第1期、設定来累計の欄は、それぞれの分配金累計（税引前）の設定時10,000円に対する比率です。

(注3) 騰落率は税引前分配金再投資基準価額を基に算出したものであり、実際の投資家利回りとは異なります。また、騰落率は設定来累計を除き、期中騰落率を記載しています。税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものと仮定して計算しています。

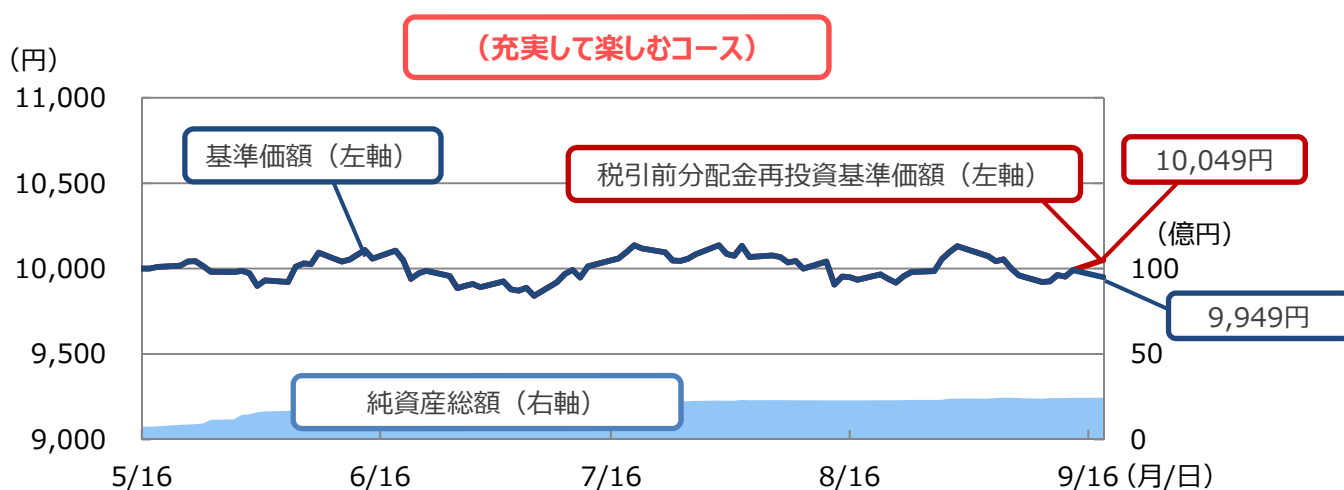
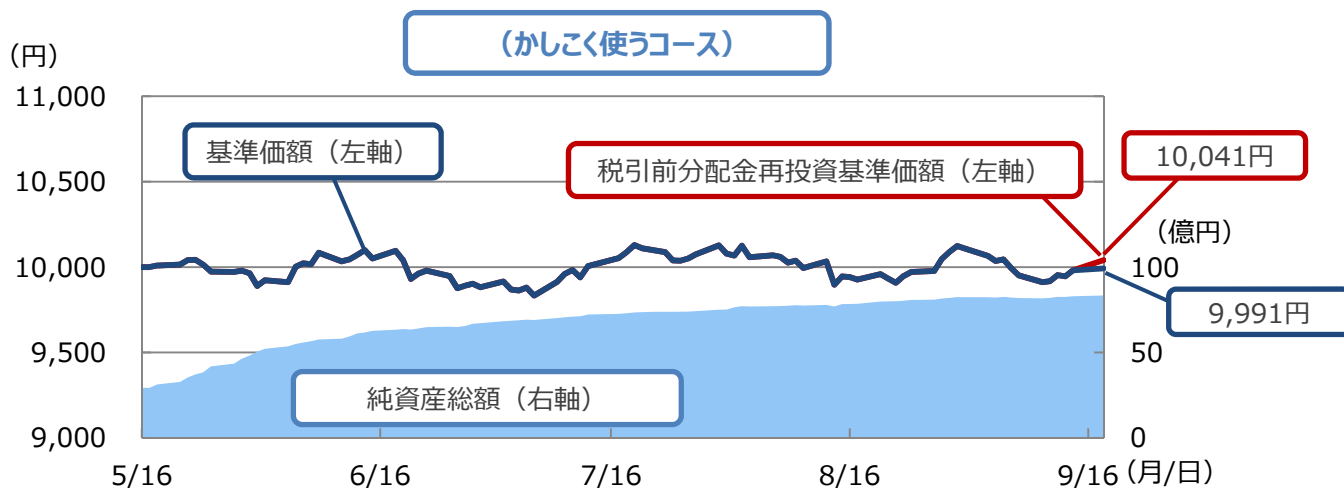
(注4) 目標分配率とは、基準価額に対する分配率の目安を示すものであり、実際の支払額を保証するものではありません。また、各コースの利回りを示唆あるいは保証するものではありません。

(注5) 目標分配率は、各コースの決算日の基準価額に対する比率となります。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果および分配を保証するものではありません。分配金額は委託会社が分配方針に基づき基準価額水準や市場動向等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

※ファンド購入時には、購入時手数料がかかる場合があります。また、換金時にも費用・税金などがかかる場合があります。くわしくは最終ページおよび投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

基準価額と純資産総額の推移



(注1) データは2018年5月16日(設定日)～2018年9月18日。

(注2) 基準価額、税引前分配金再投資基準価額は、1万口当たり、信託報酬控除後です。

(注3) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものと仮定して計算しており、実際の基準価額とは異なります。

市場見通しと今後の運用方針

以下は、当ファンドの運用を実質的に担当するブラックロック・グループから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

<市場見通し>

- 今後は、米国の良好なファンダメンタルズ（経済の基礎的諸条件）を受け、米国の金融政策が2019年以降も引締め気味に推移すると観測が強まるものとみており、こうした中で新興国や南欧の市場は不安定な環境が続くものと想定しています。
- またリスクシナリオとして、米国株式市場が調整する場合、資本市場全体が調整する環境となる可能性があるとみています。

<今後の運用方針>

- 引き続き、米国の通商政策にかかる実体経済への影響や、米国、日本の金融政策の動向がどの程度まで市場に織り込まれたかを見極めつつ、ポートフォリオのリスクを管理します。当面、ポートフォリオのリスク水準は現状を維持する方針です。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

※上記の市場見通しおよび今後の運用方針は当資料作成時点のものであり、当ファンドの将来の運用成果および市場環境の変動等を示唆あるいは保証するものではありません。今後、予告なく変更する場合があります。

※ファンド購入時には、購入時手数料がかかる場合があります。また、換金時にも費用・税金などがかかる場合があります。くわしくは最終ページおよび投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

コラム：最高の人生を描くための楽しみ方

第1回：大人のグランピング

～アウトドアライフを高級ホテルのホスピタリティで～

■ グランピング時代の幕開け

「グランピング」とは、**グラマラス**と**キャンピング**を掛け合わせた造語で、ホテルや宿泊施設が提供する贅沢なアウトドア体験のことです。

何が贅沢かという点、**ご自身で用意するものは何もない**ということです。

キャンプの舞台は、山、川、森などの大自然。自然の中で童心にかえって自然を満喫しつつ、用意された食事を堪能し、冷暖房・ふかふかのベッド・清潔な浴室が整った快適な寝室で心身ともに休む。**アウトドアと高級ホテルを融合**させた大人のキャンプです。

全世界で新しいリゾートスタイルとして注目されていて、最近では、国内でもこのグランピングが体験できる施設が次々とオープンし、今まさに日本のグランピングの幕開けが訪れているようです。

■ グランピングリゾート「星のや富士」

2015年10月30日に日本初のグランピングリゾート、「**星のや富士**」が開業しました。

6ヘクタールの広大な森の中に、クラウドテラスをはじめとした大自然と触れ合える心地よいリゾート空間がデザインされています。

焚き火や燻製づくりなどのグランピングマスターがもてなす本格的なアウトドア体験。河口湖を眼下に臨み、一年中快適に過ごせる客室。シェフが演出するアウトドアを感じる料理の数々。

大自然を楽しみ尽くす贅沢な「**グランピングリゾート**」を楽しむことができます。



(画像提供) 星のや富士

(出所) 各種報道資料、星のや富士のホームページを基に三井住友アセットマネジメント作成

※本ページはご参考情報として掲載しているものであり、当ファンドにかかる説明ではありません。また、個別銘柄等を推奨するものではありません。

ファンドの特徴（くわしくは最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）

1. 「退職世代（年金世代）とその準備世代」のさまざまな資産活用ニーズに対応します。資産成長と資金払出の割合の違いによる、3つのコースからご選択いただけます。また、各コース間でスイッチングが可能です。
 - 投資信託証券への投資を通じて世界各国の株式、債券および不動産投資信託（リート）等に分散投資します。
 - 中長期的な目標リターンとして短期金利相当分＋年3％程度※を目指して資産配分を行います。

※各コースの信託報酬および各コースが投資対象とする外国投資信託の運用報酬等控除後のものです。

かしこく育てるコース

かしこく使うコース

充実して楽しむコース

決算回数	年2回（3月、9月）	年6回（奇数月）	年6回（奇数月）
分配方針等	分配を極力抑制するとともに、信託財産の安定的な成長を目指します。	目標分配率を年3％（各決算時0.5％）相当とし、目標分配率に応じた分配（資金払出）を行うことを目指します。	目標分配率を年6％（各決算時1％）相当とし、目標分配率に応じた分配（資金払出）を行うことを目指します。

・委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

！ ご注意いただきたい事項

▶ 目標リターンについて

- 目標リターン（短期金利相当分＋年3％程度）は一定の収益を得ることができる運用を意味するものではなく、またその達成を示唆あるいは保証するものではありません。
- 目標リターンに用いる短期金利は、2018年2月末現在、1ヵ月円LIBORを基に算出するものを指しますが、市場環境に応じて類似の指標を用いることがあるほか、予告なく変更する場合があります。

▶ 目標分配率について

- 目標分配率とは、基準価額に対する分配率の目安を示すものであり、実際の支払額を保証するものではありません。また、各コースの利回りを示唆あるいは保証するものではありません。
- 目標分配率は、各コースの決算日の基準価額に対する比率となります。
- **充実して楽しむコース**は、中長期的な目標リターンを達成した場合においても、それよりも多くを分配（資金払出）するため、実質投資元本の取崩しとなります。そのため投資元本は小さくなり、結果的にのおおむね分配の都度分配金の金額は小さくなっていきます。

▶ 分配金について

- **かしこく使うコース**および**充実して楽しむコース**の分配金は、投資収益にかかわらず目標分配率に応じて払い出すため、投資収益が目標リターンを下回る場合には、分配金の一部または全部が元本取崩しによって充当されます。
- **かしこく使うコース**および**充実して楽しむコース**は、第2期の決算日（2018年9月18日）からの分配を目指します。

2. 実質的な運用は、運用資産残高で世界最大級の運用会社であるブラックロック*が行います。

- 投資対象とする外国投資信託の運用は、ブラックロック・アセット・マネジメント・ノース・アジア・リミテッドが行います。
*ブラックロック・アセット・マネジメント・ノース・アジア・リミテッドを含むブラックロック・グループを指します。
- 外国投資信託は、主として上場投資信託証券（ETF）への投資を通じて世界各国の株式、債券および不動産投資信託（リート）等に分散投資します。
- 各資産への投資割合は、各資産についてブラックロックが推計する中長期的に期待される収益率およびリスク等を基に最適化を行い、変動リスク水準があらかじめ定めた目標程度となるように決定されます。また、変動リスク水準が目標から大きく外れる場合は、資産配分を機動的に見直す、あるいは現金比率を高める場合があります。

※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

分配金に関する留意事項

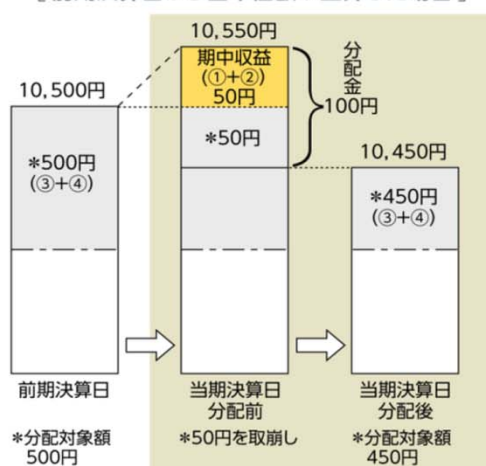
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



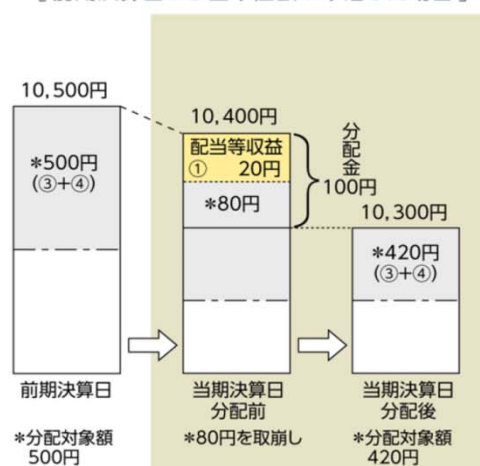
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

(計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合)

[前期決算日から基準価額が上昇した場合]



[前期決算日から基準価額が下落した場合]

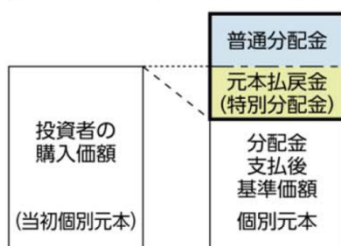


(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※ 上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

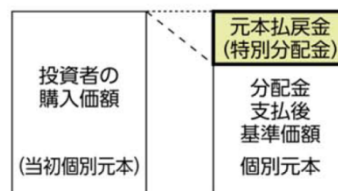
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

[分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合]



※ 元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は**非課税扱い**となります。

[分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合]



普通分配金：個別元本（投資者のファンド購入価額）を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金（特別分配金）：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）の「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご参照ください。

ファンドのリスクおよび留意点（くわしくは最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）

基準価額の変動要因

ファンドは、投資信託を組み入れることにより運用を行います。ファンドが組み入れる投資信託が投資対象とするETF等は、主として内外の株式、債券および不動産投資信託（リート）を投資対象としており、その価格は、保有する株式、債券および不動産投資信託（リート）の値動き、当該発行者の経営・財務状況の変化、為替相場の変動等の影響により上下します。ファンドが組み入れる投資信託が投資対象とするETF等の価格の変動により、ファンドの基準価額も上下します。**基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込む**ことがあります。運用の結果としてファンドに生じた**利益および損失は、すべて受益者に帰属**します。したがって、ファンドは**預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく**、一定の投資成果を保証するものでもありません。ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

■ 株式市場リスク

内外の政治、経済、社会情勢等の影響により株式相場が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、個々の株式の価格はその発行企業の事業活動や財務状況、これらに対する外部的評価の変化等によって変動し、ファンドの基準価額が下落する要因となります。特に、企業が倒産や大幅な業績悪化に陥った場合、当該企業の株式の価値が大きく下落し、基準価額が大きく下落する要因となります。

■ 債券市場リスク

内外の政治、経済、社会情勢等の影響により債券相場が下落（金利が上昇）した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、ファンドが保有する個々の債券については、下記「信用リスク」を負うことにもなります。

■ 不動産投資信託（リート）に関するリスク

リーツの価格は、不動産市況や金利・景気動向、関連法制度（税制、建築規制、会計制度等）の変更等の影響を受け変動します。また、リートに組み入れられている個々の不動産等の市場価値、賃貸収入等がマーケット要因によって上下するほか、自然災害等により個々の不動産等の毀損・滅失が生じる可能性もあります。さらに個々のリートは一般の法人と同様、運営如何によっては倒産の可能性もあります。これらの影響により、ファンドが組み入れているリーツの価格が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 信用リスク

ファンドが投資している有価証券や金融商品に債務不履行が発生あるいは懸念される場合に、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 為替変動リスク

外貨建資産への投資は、円建資産に投資する場合の通常のリスクのほかに、為替変動による影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落（円高）する場合、円ベースでの評価額は下落することがあります。為替の変動（円高）は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。投資対象とする外国投資信託においては、債券に投資するETFについて為替ヘッジ付きのものとする場合は、為替変動の影響は軽減されます。

■ カントリーリスク

海外に投資を行う場合には、投資する有価証券の発行者に起因するリスクのほか、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化や混乱などによって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

■ 市場流動性リスク

ファンドの資金流入に伴い、有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、必要な取引ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 換金制限等に関する留意点

投資資産の市場流動性が低下することにより投資資産の取引等が困難となった場合は、ファンドの換金申込みの受け付けを中止すること、および既に受け付けた換金申込みを取り消すことがあります。

投資信託に関する留意点

- 投資信託をご購入の際は、最新の「投資信託説明書（交付目論見書）」および一体となっている「目論見書補完書面」を必ずご覧ください。これらは三井住友銀行本支店等にご用意しています。
- 投資信託は、元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- 投資信託は預金ではありません。
- 投資信託は預金保険の対象ではありません。預金保険については窓口までお問い合わせください。
- 三井住友銀行で取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 三井住友銀行は販売会社であり、投資信託の設定・運用は運用会社が行います。

お申込みメモ (くわしくは最新の投資信託説明書 (交付目論見書) をご覧ください。)

信託期間	無期限です。(信託設定日：2018年5月16日)
決算および分配	<p>かしこ育てるコース 毎年3月および9月の15日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、分配金額を決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。</p> <p>かしこ使うコース 充実して楽しむコース 毎年1月、3月、5月、7月、9月、11月の15日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、以下の目標分配率に基づき分配を行います。 かしこ使うコース 年3%(各決算時0.5%)相当 充実して楽しむコース 年6%(各決算時1%)相当 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。 ※初回分配は2018年9月18日となります。</p>
購入受付日	原則としていつでも購入できます。
購入価額	購入受付日の翌営業日の基準価額
購入単位	<p>1万円以上1円単位 投信自動積立の場合：1万円以上1千円単位 スイッチングの場合：1円以上1円単位 ※購入時手数料および購入時手数料にかかる消費税等相当額を含めて上記の単位となります。 ※かしこ使うコースと充実して楽しむコースは投信自動積立の対象外です。</p>
換金受付日	<p>原則としていつでも換金できます。 換金代金の支払いは、原則として換金受付日から起算して7営業日目以降となります。</p>
換金価額	換金受付日の翌営業日の基準価額
繰上償還	<ul style="list-style-type: none"> ●委託会社は、各ファンドの基準価額(1万口当たり。支払済み分配金を加算しません。)が2,000円を下回った場合、短期金融商品等による安定運用に順次切換えを行い、基準価額が2,000円を下回った日の翌営業日から起算して3か月以内に繰上償還します。 ●委託会社は、各ファンドの投資対象とする外国投資信託が信託を終了した場合または外国投資信託の分配方針の変更により各ファンドの商品の同一性が失われる場合には、繰上償還します。 ●委託会社は、受益者にとって有利であると認めるとき、各ファンドの残存口数が20億口を下回る事となったとき、その他やむを得ない事情が発生したときは、あらかじめ受益者に書面により通知する等の所定の手続きを経て、繰上償還させることがあります。
課税関係	<p>課税上は株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」、未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA(ニーサ)」の適用対象です。 配当控除の適用はありません。 ※上記は作成基準日現在の情報をもとに記載しています。税法が改正された場合等には、変更される場合があります。</p>

手数料等（くわしくは最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）

投資信託は、購入・換金時等に直接ご負担いただく費用と信託財産から間接的にご負担いただく費用の合計額がかかります。

① 購入・換金時等に直接ご負担いただく費用

時期	項目	費用額
購入時	購入時手数料	2.16%（税抜き2.0%） ※購入時手数料には消費税等相当額がかかります。 ※購入時手数料は、購入価額（基準価額×購入口数）に手数料率（税込み）を乗じて得た額とします。
	スイッチング手数料	ありません。
換金時	換金手数料	ありません。
	信託財産留保額	ありません。

② 保有期間中に信託財産から間接的にご負担いただく費用

項目	費用額
信託報酬	ファンドの純資産総額に 年1.1124%（税抜き1.03%） の率を乗じた額 ※投資対象とする投資信託の運用報酬等を含めた場合、 最大年1.9388%（税抜き1.81%） となります。 ※投資対象とする投資信託が組入れを想定しているETFへの投資割合で計算した場合、年1.5283%（税抜き1.4299%）程度（2018年2月末現在）となります。 ※投資対象とする投資信託の運用報酬等には、上記の率に加えて、別途、受託報酬等がかかります。そのため、実質的な負担はこれらの報酬を加えたものとなります。なお、これらの報酬は、ファンドの運用状況や資産規模等によって変動します。このため、あらかじめ、その金額等を具体的に記載することはできません。

※上記のほか、ファンドの監査費用や有価証券の売買時の手数料、資産を外国で保管する場合の費用等（それらにかかる消費税等相当額を含みます。）が信託財産から支払われます。これらの費用に関しましては、その時々を取り引内容等により金額が決定し、運用状況により変化するため、あらかじめ、その金額等を具体的に記載することはできません。

※手数料等の合計額、その上限額、計算方法等は、投資者の保有期間に応じて異なる等の理由により、あらかじめ具体的に記載することはできません。

委託会社、その他の関係法人

委託会社	三井住友アセットマネジメント株式会社（ファンドの運用の指図等を行います。） フリーダイヤル：0120-88-2976 受付時間：営業日の午前9時～午後5時 ホームページ：http://www.smam-jp.com
受託会社	株式会社S M B C 信託銀行（ファンドの財産の保管および管理等を行います。）
販売会社	株式会社三井住友銀行（ファンドの募集・販売の取扱い等を行います。）

【重要な注意事項】

- ◆ 当資料は三井住友アセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ◆ 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、当資料は三井住友アセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- ◆ 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- ◆ 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- ◆ 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- ◆ 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および目論見書補完書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等は販売会社にご請求ください。
- ◆ 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

■ 投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込

■ 資料の作成、設定・運用



株式会社三井住友銀行
登録金融機関 関東財務局長（登金）第54号
加入協会 / 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会



三井住友アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号
加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会